



第22回熱田の森ロボット競技会 結果報告

情報技術部ロボット班 ロボスプリント競技部門 **優勝、第3位**
ライトレーサ高校生競技部門 **第3位**

実施日 平成30年3月18日(日)
場所 名古屋工学院専門学校(名古屋市熱田区)
参加台数 ライトレーサ競技部門91台 ロボスプリント競技部門35台 歩行ロボット競技部門57台
合計183台
大会結果
ロボスプリント競技部門 **優勝** 伊藤凌那(2年化学技術科)
ロボスプリント競技部門 **第3位** 古澤一晃(2年情報技術科)
ライトレーサ高校生競技部門 **第3位** 渡邊亮介(3年情報技術科)

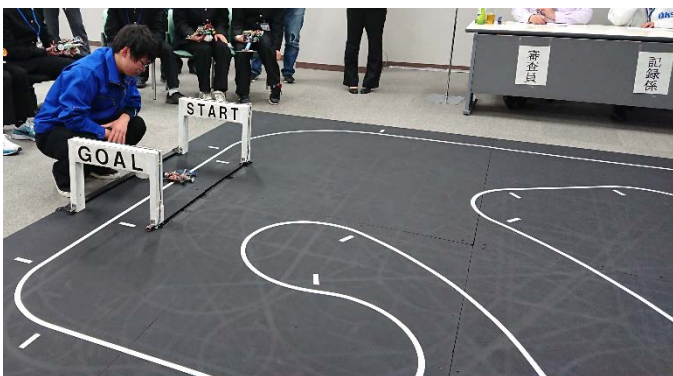
記事

昨年、ロボスプリント競技部門において惜しくも優勝を逃し、準優勝と第3位の成績であったため、今年の競技会では優勝することを目標に取り組んできた。本校からは、ライトレーサ高校生競技部門13台、ライトレーサ一般競技部門7台、ロボスプリント競技部門13台の合計33台が大会にエントリーした。

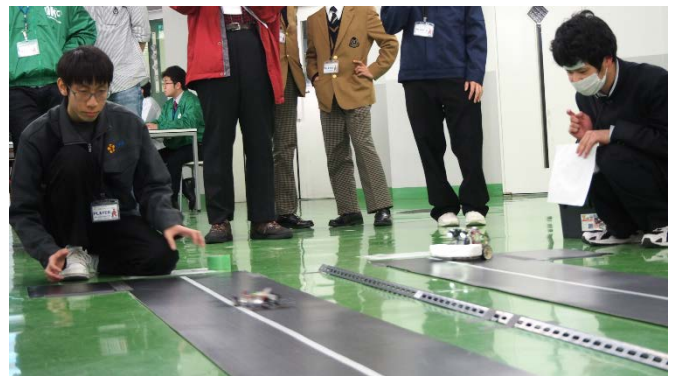
ライトレーサ競技部門は、3.6m×5.4mの黒ベニヤ板に設けられた白線をスタートからゴールまで自律走行し、その走行時間を競う競技である。1走目でコースの形状(距離、曲率)を記憶し、2走目以降に記憶した形状に合わせて速度制御しながらメリハリのある走行ができるように取り組んできた。コースアウトする選手が多い中で、**渡邊亮介君(情報技術科3年)**のロボットが安定して速い走行を披露し**第3位**を獲得した。優勝した選手とはわずか0.277秒差で、優勝、準優勝の選手より安定した走りをしていたため、素晴らしい結果であった。今後は、さらに調整を重ねてタイムを伸ばしていきたい。

ロボスプリント競技部門は、長さ8m、幅45cmの直線コースをいかに早く走行するかを競う競技で、2台のロボットが対戦するトーナメント形式で、安定した走行性能が求められる競技である。ラインのないところから進入する部分のスピードをなるべく速くし、高速でライトレース状態に入るようにすることを考えた。昨年準優勝だった**伊藤凌那君(化学技術科2年)**のロボットが今回見事に**優勝**、**古澤一晃君(情報技術科2年)**のロボットが**第3位**を獲得することができた。これまでに何度も中部地区大会でロボスプリント競技に参加した経験を生かすことができた。

競技会後には他校の高校生との技術交流ができ、今後の活動への課題やヒントを得ることができた。この大会を契機にさらに技術向上に励んでいきたい。



ライトレーサ高校生競技部門



ロボスプリント競技部門 決勝戦



表彰式後 記念写真



入賞者の3名